

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



平成25年5月6日（月）～5月12日（日）〔平成25年第19週〕の感染症発生状況

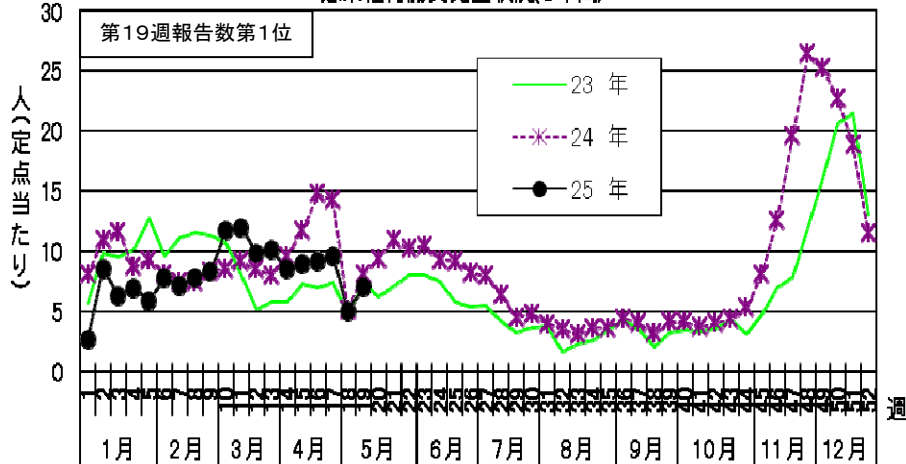
第19週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎は定点当たり7.00人と前週（5.00）より患者報告数は増加し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり3.03人と前週（2.03）より患者報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。

風しんの届出が20件あり、依然として報告数は多くなっています。現在、本市では、妊娠している女性の夫などを対象に、麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）接種費用の一部助成を実施していますので、この機会に予防接種を検討しましょう。

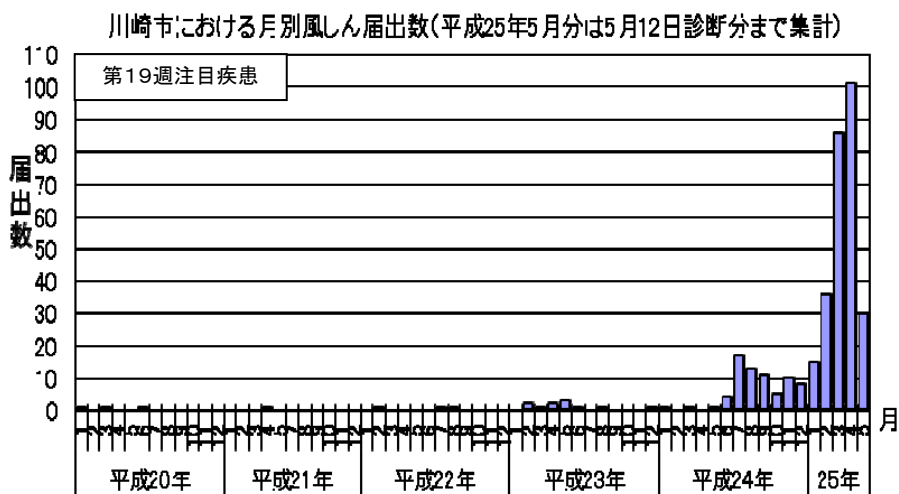
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



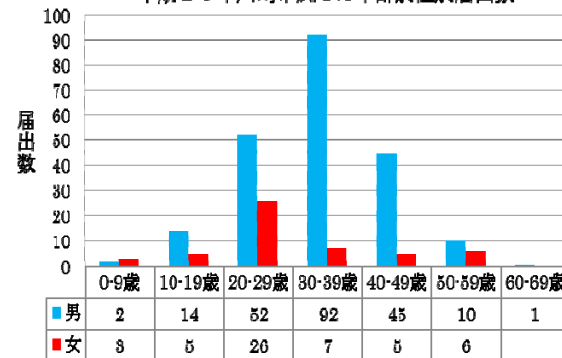
## 「たかが風しん」と、あなどるなかれ！！

風しんは、一般に予後が良好な疾患ですが、成人では高い熱が出たり関節痛を引き起こすことがあるとともに、まれに急性脳炎などの合併症を引き起こすこともあります。

今年は、例年に比べ風しんの届出数が非常に多くなっており（左下グラフ参照）、特に20～40代男性が多くを占めています。法に基づく予防接種では、昭和54年4月1日以前に生まれた男性は、接種対象外となっており、免疫を持っている方が少ないと考えられますので、風しんの予防接種を検討しましょう。



平成25年川崎市風しん年齢性別届出数



川崎市では、感染の多い世代の男性や妊娠を予定する女性などに対して、**麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）**接種費用の一部助成を実施しています。

### ワクチン接種費用一部助成対象者

1. 妊娠している女性の夫（児の父親）
2. 23歳～39歳の男性（昭和49年4月2日～平成2年4月1日生まれ）
3. 23歳以上の妊娠を予定又は希望している女性（平成2年4月1日以前の生まれ）